



NO. 781
 発行
 13・3月30日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 関川 和彦
 編集責任者
 教 宣 部

つづいていく体制を
 国労東日本本部
 学習会

3・11大震災を忘れない
 原発は許さない

生活共同組合あいコープふくしま
 (郡山市)



2月7日
 エリア本部
 委員会の前
 日に学習会
 が開催「生
 活共同組合
 あいコープ
 ふくしま」
 の佐藤理事
 長・橋本副
 理事長から
 「3・11大
 地震を忘れ
 ない、原発
 事故を許さ

ない」の表題で、当時の状況や生協活動についての取り組み・放射能に対するの対策など講演されました。
 東日本大震災から2年になりま
 す。2年が経過しましたが復旧・
 復興はなかなか進んでいません。
 厳しい環境が続いている中で、一
 刻も早い復旧・復興を。
 今、何ができるのか、みなさん
 ひとり一人が考えて、前に進んで
 いきましょう。

2年が経過する。県内の人たちは、もう忘れていくのではないかと。復興はマスメディアは言っているが、全く進んでいない。
 仮設住宅で低線被爆を強いられるところ。原発から60〜70キロ離れたところで活動している。全ての安全・安心を進めている。環境に

安全・安心を
 橋本副理事長

ダンプ・トラック
 パレード

4月21日 (日)

今年もダンプ・トラックパレードを行います。多くの参加をお願いします。



やさしい活動も取り組んでいる。原発について意識していなかったがこんなに影響しているのか。
 3・11大地震は体験したことのない地震で長い揺れが続いた。その後の静けさは、津波の前触れだった。
 原発を中心に遠方へ避難。事故の時、もっと大きな爆発があるのではないかと心配していた。ガソリン・水など不足した。地域住民は県外への避難、しかし離れることができなかった住民がいた。
 大きな爆発は無かったが水素爆発による大きな影響があった。
 子どもへの不安、自宅にいたことで被爆させたと考え、そのことで県外へ避難していった。多くの人が避難した。

あたりまえの生活が奪われた



しかし避難できなかった住民が居た。それは仕事・住宅ローン・土地・田畑などの理由。子ども達は仲間との友情があつて離れられなかった。いろんなリスクがあるかどうか子どもと話し合った。あたりまえの生活が奪われた。

夢が奪われた

学校行事が全て中止になり外で遊べなくなった。スポーツもできなくなった。夢が奪われていった。全ての安全・安心について生協活動が継続できるか苦悩した。どうにもならない状況が続いた。
 東電はトラブル隠し、いろんな事故隠しをしていたが、それでも稼働させた。東電のやり方、国を含めてずさんだとわかった。
 原発は40年以上稼働していて老朽化していた。原発事故の背景から原因がわかった。不安の中での生活が続いていた。



(裏面へ続きます)



